



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第378号

2018年8月27日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

すべての方に医療費負担軽減を

街頭からの訴えが終わったあとで、「子育て支援はもう充分ではないか？高齢者支援をもっとやってくれ」との声を何度か聞きました。この声の背景には高齢者の医療費負担が年々あがっているところにあります。1割負担だった方には2割負担へ、ある程度の収入のある方には現役の方と同等の3割負担へしてきたことが影響しています。

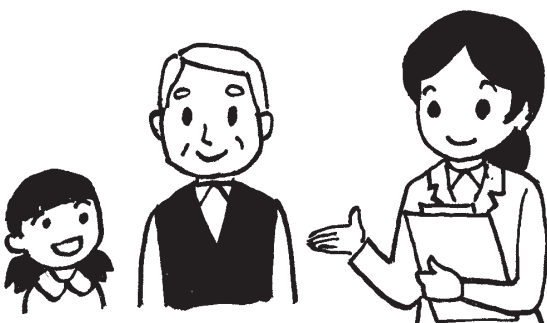
「医療費が心配で病院へ行かない」いわゆる医療抑制ともいえる高齢者が増えているという新聞報道がありました。医療費負担を軽減する。同時に、保険料も軽減していかないと、命にかかわることに繋がり、病気の重症化でかえって医療費を増大させることにもなります

また、子ども医療費も同様に軽減がまだまだ必要です。「せめて未就学児の窓口負担300円を無くしてほしい」、「他の人には聞かれたくないが300円の負担は冬の季節はきつい」、また「以前は喘息に対して医療費無料だったのに・・・今は早め早めに対処して悪化させないようにするけど、病院に通う頻度は多いので大変」など切実です。

子育て中の方々の願いは、窓口負担の軽減とともに、高校卒業までの医療費無料化拡大です。ある小児科医は「コンビニ受診を高齢者や子どもたちに悪く言う方がいるが、早期発見のほうが医療費の減少につながる」としてコンビニ受診に対して肯定的に話します。

日本共産党市議団は、高齢者や子どもたちの医療費負担軽減、保険料の引き下げを進めていくように、八千代市をはじめ国に対して求めていきます。9月議会では子どもの医療費拡充に対して質問いたします。

*コンビニ受診とは一般的に外来受診をしていない休日や夜間に軽症患者が救急外来を受診すること。



■一般質問日程

代表	植田 進議員	9月3日(月)PM3:00頃
個別	伊原 忠議員	9月4日(火)PM1:00頃
個別	堀口明子議員	9月5日(水)PM1:00頃